

<b>専門分野</b> 数理経済学, 生物有機化学				
<b>科目区分と授業科目</b> (学問分野別科目と主題探究型科目の両者について, 必ず授業科目を選んでください。)				
<b>学問分野別科目 (120~150人程度)</b> 以下の授業科目について, 1つチェックしてください。なお, 「工学入門」「農学入門」については, 別途担当依頼をいたします。				
<input type="checkbox"/> 環境学入門	<input type="checkbox"/> 人間科学入門	<input type="checkbox"/> 生活科学入門	<input type="checkbox"/> 哲学入門	<input type="checkbox"/> 文学入門
<input type="checkbox"/> 言語学入門	<input type="checkbox"/> 歴史学入門	<input type="checkbox"/> 考古学入門	<input type="checkbox"/> 地理学入門	<input type="checkbox"/> 法学入門
<input type="checkbox"/> 政策科学入門	<input checked="" type="checkbox"/> 経済学入門	<input type="checkbox"/> 社会学入門	<input type="checkbox"/> 心理学入門	<input type="checkbox"/> 数学入門
<input type="checkbox"/> 物理学入門	<input type="checkbox"/> 化学入門	<input type="checkbox"/> 生物学入門	<input type="checkbox"/> 地学入門	
<b>授業題目 (学問分野別科目)</b> (主な話題となる分野・領域がわかるようにしてください。) <b>【例: 恒星の進化と地球の未来, 日本文学の世界 ~近現代文学を中心に~】</b>				
暮らしと経済学				
<b>授業のキーワード(3つ程度)</b> 市場機構, 経済成長, イノベーション				
<b>授業概要(学問分野全体を俯瞰する内容を, 必ず含めてください。)</b> 初めに経済学の学問分野について俯瞰する。経済学とはどのような学問か, 経済学的なものの方・考え方とはどのようなものかについて学習する。次に, 暮らしの中の経済現象を, 市場機構, 経済成長, イノベーションの観点から分析し, 考える力を養う。前半は, 市場, 企業, 雇用について学び, 後半は, 成長とイノベーションの経済的意義について考察する。最後に, 現在の日本経済が抱えている問題点とその解決策を展望する。				
<b>主題探究型科目 (50人程度)</b> 以下の授業科目について, 1つチェックしてください。				
<input checked="" type="checkbox"/> 環境を考える	<input type="checkbox"/> 倫理と思想を考える	<input type="checkbox"/> 歴史を考える	<input type="checkbox"/> ことばの世界	
<input type="checkbox"/> 芸術の世界	<input type="checkbox"/> 地域と世界	<input type="checkbox"/> 社会のしくみを考える	<input type="checkbox"/> 現代社会の諸問題	
<input type="checkbox"/> 現代と科学技術	<input type="checkbox"/> 自然のしくみ	<input type="checkbox"/> 生命の不思議		
<b>授業題目 (主題探究型科目)</b> (探究するテーマ(問い)を設定してください。これを基に, 学生が自ら学習課題を設定できるような題目にしてください。) <b>【例: 生物多様性を考える, 擬音語・擬態語から日本語を考える】</b>				
生命の営みを知り地球の未来について考える				
<b>授業のキーワード(3つ程度)</b> 生態系, 光合成, 生体分子				
<b>授業概要(次の設問で選択するアクティブ・ラーニングを促すための手法を, 授業でどのように活用する予定であるかも記入してください。)</b> 光合成システムを題材にしながら, 人類のかけがえのない拠り所である生態系(Ecosystem)について科学的な基本理解を得ることを目的とする。各回の講義をとおして, 光合成に携わっている生体分子, 私たちの体の中で実際におきている化学反応に携わっている生体分子の構造と機能について学習する。また, 生命の営みのしくみに関するグループワークを適宜行い, 地球の未来について考える。				
<b>主題探究型科目で使用する予定のアクティブ・ラーニングを促すための手法(主要なものを1~3個選択してください。)</b>				
<input type="checkbox"/> Problem Based Learning / Project based learning		<input type="checkbox"/> 調査	<input type="checkbox"/> 実習	
<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実験	<input type="checkbox"/> ロール・プレイング/シミュレーション		
<input checked="" type="checkbox"/> ペア・グループワーク	<input type="checkbox"/> ディスカッション/ディベート	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション		
<input type="checkbox"/> 双方向型演習				
<b>授業上の特記事項 ※省略可</b> 特になし				
担当を希望する科目区分があれば, その科目区分にチェックを入れてください。 ※参考資料といたしますが, 必要な開講授業数との関係上, 希望通りにならないことがあります。				
<input type="checkbox"/> 学問分野別科目		<input type="checkbox"/> 主題探究型科目		